

2023 年 4 月 16 日

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 友野晴夫

1. 概 要

歩行名称	四国 7
歩行区間詳細	スタート地点: 一切バス停(高知県幡多郡大月町)
	ゴール地点: 伊方町役場(愛媛県西宇和郡伊方町)
実施期間	2023/3/12-3/18 (7 日)
全歩行距離	242Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏 名	年齢	歩行日数	備 考
1	リーダー	20 期、友野晴夫	69	7	B班
2	記録・車両関係	9 期、森正昭	81	5	A班
3	会計	水野源吾(森さん友人)	81	5	A班
4					
5					

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備 考
1	3/12	柏島赤灯台~ 一切バス停~安満地漁港	13.2Km	A + B	分割歩行
2	3/13	安満地漁港~敦盛	52.4Km	A + B	分割歩行
3	3/14	敦盛~福浦漁港	52.4Km	A + B	分割歩行
4	3/15	福浦漁港~奥南郵便局	39.7Km	A + B	分割歩行
5	3/16	奥南郵便局~赤崎	44.7Km	A + B	分割歩行
6	3/17	赤崎~合田バス停	22.4Km	B	
7	3/18	合田バス停~伊方町役場	17.0Km	B	



全行程の地図

4. 参加費

1) 参加者延べ日数: (2人×5日)+(1人×7日)=17日

参加費合計: 17日×100円=1700円

2) 往復交通費は各負担

3) 共通会計(レンタカー代、宿泊代、食費等)

●宿泊、ガソリン代 など

12日	宿毛 ホテルベルリーフ大月	17830円	別に旅行支援5320円
13日	愛南 ホテルセレクト愛媛愛南町	13296円	別に楽天新みきゃん割3324円
14日	宇和島 三好旅館	23750円	旅行割引なし
15日	宇和島 ホテルイシバシ	18720円	旅行割引なし
16日	西予 宇和パークホテル	18380円	
16日	ガソリン代 28.74L	4800円	西予市
12日	高速道路 高知～	760円	
13日	酒・つまみなど	2187円	宿毛市 LAWSON
14日	スーパーで酒・つまみなど	1934円	宇和島市・スーパーダイレックス
15日	宇和島城入場料	520円	
計		102177円	

●レンタカー(3/12～17の6日間)

基本料金: ¥35,860、乗捨手数料: ¥6,600、CDW加入料: ¥6,600、ECO加入料: ¥2,640、合計: ¥51,700

5. 歩行の詳細

3/11(前日)

1240 水野さんが高知行き格安航空で12時40分発で出発 運賃7730円 + 荷物1880円

2215 友野が横浜駅から夜行バスで出発、9900円

3/12 森 羽田 ANA561/7:55⇒高知/9:25、レンタカー確保

3/12、柏島～一切バス停～安満地漁港、13.2Km(晴れ時々曇り)

(A班: 柏島～一切漁港、6.1Km、 B班: 一切漁港～安満地漁港、7.1Km)



830 高知駅着、水野さんと合流、朝市と高知城見学

1030 高知駅、森さんとレンタカ合流、途中の道の駅で昼食

1430 今回の四国7のスタート地点（前回の四国6のゴール地点）である一切バス停前で写真を撮る、展望台で柏島が良く見える



（A班報告；森）

柏島～一切バス停（前回の四国6の終点）～一切漁港を歩行

柏島の赤灯台でA班下車

14:50 柏島赤灯台から歩行開始、曇り、風が強い。



赤灯台

太平洋戦争末期、海の特攻・震洋艇訓練基地があったという記念碑を見る。

柏島石堤記念碑；かつて栢島は島だったが、1652年からの工事で陸つづきとなり風災から解放された。

15:55 海岸沿いの道を上り詰め展望台着。内海を利用した魚の養殖用いけすが多数見える。



柏島

16:20 一切漁港で、友野さんデポの車を回収
16:45 安満地（あみじ）漁港で友野さんと合流

（B班報告、友野）

1500 一切漁港に車をデポして歩行開始
歩行開始、4か月ぶりの四国の歩行
きれいで静かな海岸線が気持ちよい
1650 安満地漁港でA班と合流、歩行終了



1710 ホテルベルリーフ大月に宿泊、3人部屋、きれいなホテルで食事も美味しかった、海岸の高台で眺めの良い部屋でした、高知県はTBSのテレビが見られず、WBC野球観戦ができませんでした、夜に雷雨がありました

3/13、安満地漁港～敦盛、52.4Km（晴れ）

（B班：安満地漁港～鹿崎バス停、32.1Km、 A班：鹿崎バス停～敦盛、20.3Km）



（B班報告）

800 ホテルベルリーフを出発
830 安満地漁港で車を降りてもらふ、歩行開始
朝は風が強く、海はシケていて、地元の漁士さんから「今日は仕事は中止」との話をする



天気が良く青い海の風景が素晴らしい

915 椎が浦

950 橘浦

岬と漁港の折り返しの道が延々と続く



1100 泊浦

1210 竜が迫休暇所

川柳を作る「日本の海岸線の徒歩旅行 岬と漁港の折り返し道」



1315 岬

1400 国道に出る



1540 鹿崎バス停、車に着く、歩行終了

「道の駅すくも」は改装中

（A班報告；森）鹿崎バス停～敦盛を歩行、高知県から愛媛県に入る

9:20 鹿崎バス停（道の駅宿毛の前）に車をデポする。この道の駅は、工事中だった。

10:10 宿毛駅前町、コンビニで昼食など購入

巨大なジャングルジムのような避難タワーが目を引く。



避難タワー

11:15 道路わきのミカン畑で耕運機の音、声を掛けたら、90 過ぎで一人暮らしというおばあちゃん、耕運機から手を離したら腰が偉く曲がっていた。物置に行って、大きなブントンを転がしてよこした。「ありがとう！」

12:35 脇本・高台の民家の入り口で昼食

この辺は平地がなく、窪地に建つ廃屋が目立つ。廃屋なのに、なぜかネコがのんびり日向ぼっこ。

海岸沿いから半島を超える山路に入る

14:40 中玉から登り切った峠は標高 140m、急な登りだが、水野さんと快調に上った。

15:50 峠を下り、敦盛着。友野さんの車を待つ間、散歩中の男性（氏家さん）が以下のようなことを話してくれた。

「理髪業だったが脳梗塞となり、もっぱら散歩が日課。昔からの客だけ、散髪をしているが名前が思い出せない。」
車を運転してきた友野さんと合流。



氏家さん

1550 途中の宿毛市内のコンビニで、愛媛クーポンを使用して、夜の宴会のためのビールを買い込む

1610 敦盛で合流

1640 ホテルセレクト愛南に宿泊、3人部屋、仕事で宿泊している人が多くいました

3/14、敦盛～福浦漁港、52.4Km（晴れ）

（A班:敦盛～須ノ川公園、21.3Km、 A班:須ノ川公園～福浦漁港、31.1Km）



730 ホテルセレクト愛南を出発

朝は気温が低く、車のフロントガラスに霜があった

途中のコンビニで昼食を購入する

800 敦盛でA班をおろす

（A班報告；森）

8:10 敦盛で車を下りる。敦盛～須ノ川公園に向けて歩行開始

港で漁師たちが網の補修。入り江に浮かぶ丸い網はハマチの養殖、四角い網はタイの養殖と聞いた。



協同作業

9:50 鮪越（いるか）から峠越え、丘の上に8基の風車が回っている。



丘の上の風車

11:15 南予御荘公園 休憩、空の青さ、海の青さに包まれ、温かな日差しに幸せを感じる。来てよかった！

12:25 八百坂峠の宇和島バス停留所で昼食。

歩を進めると、点在する小島の眺めは雄大で、ずっと見ても見飽きない。



点在する小島

14:30 柏崎漁港、その先のトンネルは歩行者専用となっており、子どもたちの絵が楽しい。



内海ふれあいトンネル

16:10 須ノ川公園着、デポされていた車を見つけ、友野さんを追いかける。

(B班報告)

840 須ノ川公園に車をデポして、歩行開始

935 浦知漁港

真珠の養殖場の人と話す、網の使い方を教えてくれた



川柳 2「宇和島の海岸入り江は穏やかで、真珠の養殖栄え輝く」

1040 泥目水バス停

散歩の中年女性二人と話す、海岸のコースを教えてくれた

1150 田之浜



1250 大日提（おおひさげ）

1400-1415 津島大橋、コーヒータイム

1500 鵜の浜バス停

1600 牛の浜



1650 福浦漁港、歩行終了、車で合流
歩行ルートに戻る

1730 三好旅館、3人部屋で古風な旅館、津島町の道路、歴史を感じる建物が多い、おかみさんの話が面白かった、夕食にはウナギが出ました、女性のお遍路さんが泊まっていた

3/15、福浦漁港～奥南郵便局、39.7Km（晴れ）

（B班:福浦漁港～道の駅宇和島、23.9Km、 A班:道の駅宇和島～奥南郵便局、15.8Km）



715 三好旅館を出発



(B班報告)

750 福浦漁港付近（昨日のゴール地点）で車を降ろしてもらう、歩行開始

855 結出漁港

今日も入り江が多く穏やかな海の景色が続く



950 三浦

1100 船隠、畑に落ちていた伊予柑を食う、甘酸っぱい！

川柳3「西予市の段々畑と海岸線 伊予柑の酸っぱさ味わい元気回復」

1150 大小浜の公園

宇和島市内に近づくと、久しぶりに都会の雰囲気になる



1400 道の駅宇和島で歩行終了、車に乗る

(A班報告：水野)

715 三好旅館を出発

900 道の駅 みなとオアシスうわじまに車をデポ 歩き始める

915 道の駅から北へ、須加川を渡って左折、対岸の小さな山に白い鳥の大群 子育て中？

1050 海から離れ登り坂を歩いていたら、みかん畑の脇に高齢者が休憩中。聞くと93歳、木村さん。

「90歳を超えて体力が、がくんと落ちた」と嘆いておられた。元気で！と別れた。

しばらく歩いていたら、後ろから走ってきた軽トラが警笛を鳴らし。追い越していった。

運転していたのは木村さん。走りっぷりは若者と変わらず、軽快。同じ人と思えない。びっくり。

1130 吉田港を最奥まで歩いて、道路わきで昼食。

1200 左手は海 右は急斜面のみかん畑。収穫したミカンを下におろすケーブルがたくさん設置されている。

道路沿いに、城かと見間違ふ、屋根が何層にもなった大きな家が多いのにおどろく。鯛の養殖？

1420 奥南郵便局に到着

1450 B班友野さんと合流

1540 宇和島城

1450 奥南郵便局で合流

1540 宇和島城を観光する



1630 ホテルイシバシ、個室3部屋、ホテルは宇和島城に近くで便利であった、コンビニや道の駅も近い、私（友野）は衣服全部を洗濯をした

3/16、奥南郵便局～赤崎、44.7Km（曇りのち晴れ）

（A班:奥南郵便局～狩浜段々畑、17.3Km、 A班:狩浜段々畑～赤崎、27.4Km）



750 ホテル発

830 奥南郵便局でA班を降ろす

(A班報告：水野)

750 ホテル発

830 奥南郵便局でA班は車を降り、小雨が降り出したので折り畳み傘をさし歩き始める



930 法花津湾に向かう左折道の角にあった大きな木の下で、雨宿り休憩

1000 海に出たあと休憩 高知の海岸より海の水が透明で、一段ときれい 海水と思えない

右手にあるみかん畑、急斜面が増えてきた 新設工事をしている場所もある

1200 湾をU字に回った対岸の深津で、昼食

1300 家の前で話していた元気な女性2人、ともに82歳に、森さんが話しかける

文旦農家でいまでも家業を手伝っているという。そのうち、家から文旦を取り出してきて、

森さんのザックに何個も入れ始めた。わたくしにも持ってきてくれた。

1420 段々畑駐車場に置かれた車に到着

友野さんと合流予定の、みかめ(三瓶)海の駅まで時間があるので、目の前の畑に車で登ることにし、上から全景を見た。

1610 赤崎で友野さんと合流

(B班報告)

900 狩浜段々畑駐車場に車をデポする、歩行開始



雲行きが怪しく少し雨がぱらつくが、すぐに止む

950 明浜

雲が切れて晴れ間が出てくる、今日は暑い、Tシャツ1枚で歩く



1040 宮の浦

1130 岩井

1215 田之浜



1310 大崎鼻

1405 下泊漁港

入り江が大きい、海がきれい、よく見るとフグが泳いでいた



1500 皆江

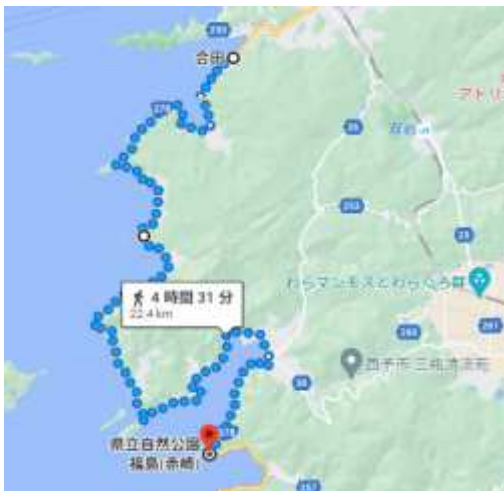
1540 蔵貫バス停

1610 赤崎という岬で歩行終了、岬の先に福島という小さな島がある所



1700 宇和パークホテル、大きめのビジネスホテル、個室2部屋、夕食&朝食はバイキング形式、風呂は大きい、三好旅館であった女性お遍路さんと再会する、A班の森さん、水野さんは今日で歩行を終了し、明日からは観光する
夜はツインの部屋に集まって飲みながらWBC野球観戦をする

3/17、赤崎～合田バス停、22.4Km（雨のち曇りのち晴れ）



（B班のみ報告）

830 ホテル発

900 赤崎で車を降りる、A班の2名は車で観光に行く

森さんは今日の夕方に東京に空路で帰るため、別れの挨拶をする

歩行開始、雨のため、雨具を付けて歩く



950 三瓶、スーパーの前のベンチで雨宿りしながら休憩する

1100 須崎観音前

雨があがる

1200 穴井

この辺りはミカン畑が多い、山全体がミカン畑だ！！



1255 真網代

晴れてくる

1350 上泊

1430 合田バス停で歩行終了、八幡浜行きのバスに乗る、バス 230 円



1500-1530 八幡浜駅でアメリカンドッグを食べ、コーヒーを飲む、電車で卯之町へ行く、電車 260 円

1552 卯之町駅前、まつちや旅館で水野さんと合流、二人部屋、おかみさんが親切、夕食の地元でしか食べられない赤魚が美味しかった、東京の世田谷からきている男性のお遍路さんが泊まっていた



3/18、合田バス停～伊方町役場、17.0Km（曇り時々晴れ）



（B班のみ報告）

715 まつちや旅館を出る、おかみさんに、お土産で数珠をもらう

736 卯之町駅発 八幡山行きの普通列車に乗る

川柳 4「海岸線、朝の家々挨拶は、歩き始めの原動力」

806 八幡浜駅で水野さんと別れる、水野さんは松山へ行き観光する

私（友野）はバスに乗る

820 合田バス停着、歩行開始

すでに7日目の最終日であるが、歩き慣れてきたためか、歩きは快調である

今日は風があり、少し寒い

920-940 道の駅八幡浜、じゃこ天と鯛飯のお握りを買う



1030 須田トンネル

1120 雨井

次回に歩く予定の佐田岬の半島の山々が眼前に見える



1225 中ノ浜

1250 伊方町役場前、今回の最終ゴールで歩行終了



1330 新伊方バス停

1550 松山市バス停

松山城下の公園を少し歩く

松山駅に行き、レトルトのじゃこ天等のお土産を買う

松山駅に近い居酒屋”ぶらぶらある記”に入り、水野さんに連絡し打ち上げ会を行う



水野さんは今夜は松山に泊まるため、ホテルの前で別れを挨拶をする

1930 松山発 夜行バスで横浜へ行く、よく眠れる

翌日の 630 横浜駅に無事に到着する

6、感想

(友野)

- ・愛媛県の西海岸の海は入り江が多く、山は低いが、日本のフィヨルド地形だと思った、深い入り江はみな、波は穏やかで、真珠、鯛、ハマチなどの養殖が盛んに行われていた、海岸線を歩いていて、養殖池のフェンスを多数見える光景が印象に残った
- ・前回に続いて、森さん、水野さんが元気に歩いて頂き、思いのほか距離が進んでよかった、1回で 242 km の歩行は、私にとっては最高記録でした
- ・次回は佐田岬の先端まで行き、松山を経由して、今治まで歩いて、四国一周を終わる予定です、楽しみです

(森 正昭)

- ◇ 海の青さ、空の青さに染まり、毎日約 20 km よく歩いたと思う。帰ってきたら一段と日焼けしていた。
- ◇ リアス式海岸の内海ではどこも養殖漁業、丸い網はハマチ、四角い網が鯛なんだそうです。いけすから上げた鯛は、生かしたまま箱詰めにして出荷していた。
- ◇ 孫たちのために文旦をつくっている、楽しみのために花を育てている、ボケないように散歩をしている……高齢者たちの姿に感動！「散歩に来たよ」と峠のミカンハウスのわきで、杖を片手に休んでいた 93 歳のジイさん。我々が歩いていたら、「パイ」と警笛を鳴らし、手を振って走り去った。
- ◇ 廃校となった保育園や小学校の建物を見ると心が痛んだ。山中の廃屋もわびしかった。
- ◇ 高知県の海岸線はいたるところで津波の避難ルートが表示されていたが、愛媛県に入ると津波の心配はないんだそうです。

(水野 源吾)

- ・12日、高知駅で2人と合流する前日に泊まった、桂浜近く、お遍路宿の部屋に、ま新しい「非常袋」が掛けてあった。中身は緊急時用品約20点。 高知県は南海地震が起きると最高34mの津波に襲われるとされている。市内道路の目立つところに、「ここは0m」の表示が掲示されている。宿の部屋内で「非常袋」を見たのは初めて。
- ・毎日、夕食に新鮮な刺身が出てどの宿も美味かった。鰻の照り焼きが出た宿もあった。
- ・宿代は2食付き7000円程度。ほとんどの宿で1泊2000円の地域クーポンが出た。”消化”に追われ、複雑な気分。
- ・海岸沿いの道は、2時間歩いて人に会わないところもあった。高台の道から左手に青い宇和海が見え、時節がら、鶯の鳴き声が途切れることなく続く。芽吹き前の山には山桜がぽつんと。道の脇には、春の花が一斉に咲いていた。

ぜいたくな時間。

・県の人口を調べてみた。高知県68万人、愛媛県130万人。年々減少している。

7、動画集

四国 7-1 <https://youtube.com/shorts/l8MMwhozW7s?feature=share>

四国 7-2 <https://youtu.be/dUx8ABqgx4c>

四国 7-3 <https://youtu.be/DjD9zssSuyE>

四国 7-4 https://youtu.be/pSWHuf_glc

四国 7-5 <https://youtu.be/vAqNGyPj-yU>